

一般社団法人 富士市薬剤師会

第 82 回通常総会

一般社団法人富士市薬剤師会第 82 回通常総会次第

1. 日 時 令和 6 年 6 月 22 日 (土) 19 : 00～
2. 場 所 富士市文化会館ロゼシアター 4 階 第 3 会議室
3. 会 議
 - (1) 開会の辞
 - (2) 会長挨拶
 - (3) 議長選出
 - (4) 議事録署名人指名
 - (5) 議 事
 - <報告事項>
 - 報告第 1 号 令和 5 年度事業報告並びに同付属明細書の件
 - 報告第 2 号 公益目的支出計画実施報告書の件と監査報告
 - 報告第 3 号 令和 6 年度事業計画の件
 - 報告第 4 号 令和 6 年度収支予算の件
 - <決議事項>
 - 議案第 1 号 令和 5 年度計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書)及び同付属明細書承認の件と監査報告
 - 議案第 2 号 理事選任の件
 - 議案第 3 号 監事選任の件
 - (6) その他
 - (7) 閉会の辞

司会 古川 健太郎

報告第 1 号

令和 5 年度事業報告並びに同付属明細書の件

令和5年度一般社団法人富士市薬剤師会事業報告

主な事業

1. 公衆衛生部

〔地域の医療及び公衆衛生の向上発展に関する事業〕

- 救急医療センターに於ける円滑なる調剤業務の推進
土曜午後(50名)、土曜夜(50名)、日曜・祝祭日昼(83名)、日曜・祝祭日夜(81名)、平日
準夜(243名)に救急医療センターへ会員を派遣し、円滑に調剤業務を行いました。
- 一般県民向け「お薬出前講座Ⅰ」事業への協力
一般県民向け「お薬出前講座Ⅰ」に41回講師として協力しました。
- 覚醒剤乱用防止推進活動
5/23 富士総合庁舎で、薬物乱用防止指導員富士地区協議会総会・研修会が開かれました。
10/18 富士駅で薬物乱用防止啓発活動を行いました。11/18 グランシップで行われた、薬物乱
用防止県民大会に参加しました。
- 健康相談事業への参加
7/31 富士市健康増進事業まちの保健室で健康相談を行いました。
- うつ・自殺予防対策「富士モデル事業」への協力
「眠れない」という方に、専門の医療機関への受診勧奨を行いました。

2. 地域連携部

〔地域在宅医療における多職種連携体制の整備に関する事業〕

- 介護保険制度への参加と在宅医療と介護の連携推進
介護保険認定審査員14名を派遣し、介護保険制度へ積極的に参加しました。
- 衛生材料等の供給体制に関するシステムの整備
富士市衛生材料等供給システムを運用し、無駄のない明瞭な医療材料の供給に務めま
した。
- 「お薬出前講座」事業への協力
介護事業者向けの「お薬出前講座Ⅱ」に1回講師として協力しました。

3. 学校環境衛生部

〔学校保健及び集団施設の環境衛生に関する事業〕

○ 環境衛生検査の実施

市内小学校(27校)、中学校(16校)、高等学校(6校)、特別支援学校(1校)の簡易専用水道施設、プール施設、設備点検、給食施設の点検、教室の空気、照度検査を行いました。

○ 小学生・中学生・高校生対象の薬学講座

各学校の学校薬剤師により、薬物乱用防止活動の一環として薬学講座を警察(少年サポートセンター)とタイアップして全校において実施しました。

○ 尿検査の実施(幼稚園・保育園児及び小中高生対象)

富士市から委託を受け、市内の幼稚園、保育園児及び小・中・高生を対象に検尿を実施しました。令和5年度は、腎臓病判定委員会が6回開催されました。

10/16 学校保健検討委員会が開催されました。

○ 富士市フッ化物利用推進事業

富士市から委託を受け「4,5歳児への集団的フッ化物洗口における薬剤の提供」において、幼稚園・保育園10園に対し10薬局が協力しました。

4. 学術部

〔医薬品等に関する情報収集及び会員研修に関する事業〕

○ 研修会の実施と参加

生涯学習委員会を中心に、薬剤師生涯学習講座を4回、学術講演会を2回、病薬連携セミナー、子宮頸がん疾患啓発勉強会、COPD生活習慣病セミナーを実施しました。

1/10には県薬講師による「調剤報酬請求事務に係る講習会」を開催し、26名が出席しました。

○ 学術大会への会員派遣

12/3 第56回東海薬剤師学術大会(三重県)が開催されました。

○ 薬学研修生の受け入れ

実務実習生3名を、3薬局で受け入れました。また、県立大生の早期体験学習として4名を2薬局で受け入れました。

5. 社会保険部

〔医薬分業に関する事業〕

- 受入態勢の整備と促進
- 調剤過誤防止対策
- 三師会活動の推進
三師会新年会に 32 名参加いたしました。
- 富士市薬剤師会ホームページの活用

6. 総務部

〔広報・福利厚生に関する事業〕

- 会員名簿の作成
- 一般広報活動
- 会員の福利厚生事業
- ホームページの管理
会員薬局の変更、「会員だより」「開局保険部だより」等の更新、日県薬からの伝達事項等を掲載いたしました。

7. 防災部

〔災害時の医療救援活動に関する事業〕

- 8/29・1/17 静岡県薬剤師会の災害情報連絡訓練において、「Biz 安否確認アプリ」と衛生携帯電話による訓練を行いました。
- 富士市と締結している「災害時の医療救援活動に関する協定書」の見直しを行いました。

月	日	事 業	場 所	出席等実施状況
2023.4	11	定例理事会	薬剤師会館	会長 3副会長 他6理事
	19	薬学講座富士地区会議	富士総合庁舎	会長 相澤副会長
5	23	第1回学校薬剤師委員会	県薬剤師会館	相澤副会長
	24	第1回富士市介護保険運営協議会	消防防災庁舎	和田泰明
	26	富士市救急医療協議会4月会運営委員会	救急医療センター	会長
	8	高等学校薬学講座	吉原高	三浦正嗣
	9	定例理事会	薬剤師会館	会長 3副会長 他6理事
	16	お薬出前講座 I	ラホール富士	秋山将寛
	17	小学校薬学講座	神戸小	秋山智司
	23	薬物乱用防止総会・研修会	富士総合庁舎	山中清美 浅尾智子 原滝子
	24	監査会	薬剤師会館	室井秀樹 久松啓子
	25	学校保健会理事会	富士市役所	会長
6	〃	富士市救急医療協議会5月運営委員会	救急医療センター	〃
	26	第1回生涯学習委員会	WEB開催	〃
	29	第2回富士市介護保険運営協議会	市役所	和田泰明
	3	第1回薬剤師連盟役員会	県薬剤師会館	〃
	5	第1回腎臓病判定委員会	薬剤師会館	会長
	〃	第1回富士市地域包括支援センター運営協議会	消防防災庁舎	和田泰明
	6	中学校薬学講座	吉原第二中	坂口太
	〃	定例理事会	〃	会長 3副会長 他6理事
	9	総会打ち合わせ(会計)	〃	曾根副会長
	13	お薬出前講座 I	丘まちづくりセンター	渡邊和紀
7	〃	第1回自立支援会議	消防防災庁舎	和田泰明
	15	第1回富士市薬剤師会生涯学習講座	ロゼシアター	渡邊理事
	〃	第2回腎臓病判定委員会	薬剤師会館	会長
	〃	第1回富士市在宅医療介護の多職種連携リーダー会	医師会館	和田泰明
	16	第1回富士市地域密着型サービス運営協議会	富士市役所	清水慶子
	18	第109回県薬総会	グランディエール プレートカイ	会長 渡邊理事
	〃	静岡県薬剤師連盟通常総会	〃	会長 和田泰明 櫻田泰仙
	22	小学校薬学講座	富士第二小	河西昭典
	〃	〃	青葉台小	石田浩史
	23	小学校薬学講座	須津小	渡邊博文
8	〃	〃	岩松北小	小澤浩基
	〃	中学校薬学講座	富士南中	齋藤みつる
	〃	富士市救急医療協議会6月運営委員会	救急医療センター	会長
	26	中学校薬学講座	岳陽中	横山浩
	〃	第3回富士市介護保険運営協議会	市役所	和田泰明
	29	小学校薬学講座	富士第一小	池ヶ谷和永
	〃	中学校薬学講座	吉原北中	山崎眞利
	〃	〃	田子浦中	和田泰明
	3	小学校薬学講座	広見小	平野和洋
	〃	〃	伝法小	古川健太郎
9	4	中学校薬学講座	岩松中	若林佑典
	〃	第1回富士地域医療協議会・地域医療構想調整会議	WEB開催	会長
	〃	第3回腎臓病判定委員会	薬剤師会館	〃
	5	高等学校薬学講座	富士東高	三浦正嗣
	6	特別支援学校薬学講座	富士特別支援	石田浩史
	11	〃	富士特別支援富士東分室	三浦正嗣
	〃	第1回富士市認知症施策推進検討会	富士市役所	池ヶ谷理事
	〃	定例理事会	薬剤師会館	会長 3副会長 他5理事
	18	第4回腎臓病判定委員会	〃	会長
	22	第1回職能対策委員会	県薬剤師会館	坂野理事
10	24	細野豪志を囲む会	魚民	会長 曾根副会長 相澤副会長 平野理事 坂野理事
	25	第1回富士市在宅医療と介護の連携体制推進会議	富士市役所	平野理事
	〃	個別指導立ち合い	東部総合庁舎	渡邊理事
	〃	富士市救急医療協議会7月運営委員会	救急医療センター	会長
	26	第1回富士市CKDネットワーク及び富士市糖尿病ネットワーク運営委員会	フィランセ	曾根副会長
	27	第1回富士市国民健康保険運営協議会	富士市役所	〃
	〃	お薬出前講座 I	青葉台まちづくりセンター	櫻田泰仙
	29	学校環境衛生活動優良候補学校選出一次審査会	WEB開催	古川副会長
	30	第1回地域・職域連絡協議会	県薬剤師会館	会長
	31	富士市健康増進事業 まちの保健室 健康相談	元吉原まちづくりセンター	会長 曾根副会長
11	2	お薬出前講座 I	靖国公会堂	羽二生尚身
	3	〃	中野台区公民館	櫻田泰仙
	〃	第1回富士市健康づくり推進協議会	フィランセ	曾根副会長
	〃	第5回腎臓病判定委員会	薬剤師会館	会長
	6	第1回地域医療担当者会議	県薬剤師会館	池ヶ谷理事
	〃	第1回在宅推進委員会	〃	〃

月	日	事 業	場 所	出席等実施状況
9	7	第4回富士市介護保険運営協議会	市役所	和田泰明
	〃	お薬出前講座Ⅰ	岳陽会デイサービスセンター	羽二生尚身
	8	〃	広見三丁目公会堂	櫻田泰仙
	〃	定例理事会	薬剤師会館	会長 3副会長 他5理事
	9	お薬出前講座Ⅰ	富士南まちづくりセンター	羽二生尚身
	〃	三師会常任幹事会	医師会館	会長 曾根副会長
	10	お薬出前講座Ⅰ	八王子2丁目公会堂	櫻田泰仙
	〃	第2回富士市薬剤師会生涯学習講座	WEB開催	43名
	14	お薬出前講座Ⅰ	浦町公会堂	羽二生尚身
	18	第2回富士市国民健康保険運営協議会	市役所	曾根副会長
	20	日本薬剤師会学校薬剤師部会 学校環境衛生検査技術講習会	横浜薬科大	相澤副会長
	23	お薬出前講座Ⅰ	千鳥町公会堂	羽二生尚身
	〃	富士市救急医療協議会8月運営委員会	救急医療センター	会長
	25	お薬出前講座Ⅰ	中野1丁目公会堂	羽二生尚身
	〃	個別指導立ち合い	東部総合庁舎	会長
	29	第1回学校給食運営審議会	市役所	大村倫生
	6	お薬出前講座Ⅰ	森島公会堂	上原里美
	〃	〃	城山町公会堂	羽二生尚身
	〃	富士市薬剤師会学術講演会	ロゼシアター	35名
	7	お薬出前講座Ⅰ	昭和通公会堂	矢吹千香
	8	中学校薬学講座	吉原東中	仁藤滋美
	〃	第3回富士市国民健康保険運営協議会	富士市役所	曾根副会長
	12	三師会常任幹事会	医師会館	会長 3副会長 他4理事
	〃	定例理事会	薬剤師会館	会長 3副会長 他5理事
	13	お薬出前講座Ⅰ	十兵衛南区公会堂	羽二生尚身
	〃	第6回腎臓病判定委員会	薬剤師会館	会長
	14	お薬出前講座Ⅰ	新浜公会堂	櫻田泰仙
	15	第1回富士市地域密着型サービス運営協議会	富士市役所	清水慶子
	20	中学校薬学講座	富士中	坪倉嘉登
	21	お薬出前講座Ⅰ	八王子一丁目公会堂	平野和洋
	22	小学校薬学講座	天間小	橋本潮里
	〃	個別指導立ち合い	東部総合庁舎	会長
	25	小学校薬学講座	吉永第二小	望月佑規
	〃	富士市救急医療協議会9月運営委員会	救急医療センター	会長
	〃	第5回富士市介護保険運営協議会	市役所	和田泰明
	27	お薬出前講座Ⅰ	新町本町公会堂	羽二生尚身
	28	中学校薬学講座	吉原第三中	秋山真範
10	3	お薬出前講座Ⅰ	大淵まちづくりセンター	羽二生尚身
	4	〃	丘まちづくりセンター	〃
	〃	学校検尿意見交換会	薬剤師会館	会長
	6	お薬出前講座Ⅰ	丘まちづくりセンター	羽二生尚身
	〃	〃	田子浦荘	〃
	10	〃	神戸二丁目集会所	〃
	〃	定例理事会	薬剤師会館	会長 3副会長 他6理事
	〃	富士市住民歯科会議	フィランセ	和田泰明
	12	お薬出前講座Ⅰ	間門公会堂	坂野彰則 栗田裕作
	13	〃	鈴川四丁目公会堂	羽二生尚身
	16	学校保健検討委員会	医師会館	会長
	〃	第2回富士市地域包括支援センター運営協議会	消防防災庁舎	和田泰明
11	17	小学校薬学講座	今泉小	三浦正継
	18	お薬出前講座Ⅰ	柏原二丁目公会堂	羽二生尚身
	〃	薬物乱用防止街頭キャンペーン	富士駅	山中清美 原滝子
	19	第2回富士市在宅医療介護の多職種連携リーダー会	医師会館	和田泰明
	23	お薬出前講座Ⅰ	宮島新田公会堂	羽二生尚身
	〃	第6回富士市介護保険運営協議会	消防防災庁舎	和田泰明
	25	第2回富士市薬剤師会学術講演会	ロゼシアター	37名
	〃	富士市救急医療協議会10月運営委員会	救急医療センター	会長
	26	第3回薬薬連携業務推進に向けての意見交換会	中央病院	会長 曾根副会長 野口理事
	〃	第2回学校給食審議会	消防防災庁舎	大村倫生
	〃	小学校薬学講座	原田小	久保田節子
	〃	〃	富士見台小	望月昌子
	28	富士市医師会設立七十五周年記念式典	ホテルグランド富士	会長 曾根副会長
	1	お薬出前講座Ⅰ	宮島新田公会堂	羽二生尚身
	2	中学校薬学講座	大淵中	櫻田泰仙
	7	第2回富士地域医療協議会・地域医療構想調整会議	WEB開催	会長
	〃	中学校薬学講座	富士川一中	羽二生尚身
	〃	小学校薬学講座	東小	佐野優希
	8	富士圏域地域包括ケア推進ネットワーク会議	富士市総合庁舎	〃

月	日	事 業	場 所	出席等実施状況
12	〃	災害時医薬品等供給に関する意見交換会	〃	会長 曾根副会長 坂野理事 渡邊理事 和田泰明
	9	第3回富士市薬剤師会生涯学習講座	ロゼシアター	12名
	10	第4回富士市国民健康保険運営協議会	富士市役所	曾根副会長
	11	第1回地域薬剤師会社会保険担当者会議	県薬剤師会館	坂野理事 秋山真範
	14	定例理事会	薬剤師会館	会長 2副会長 他5理事
	15	第2回病薬連携セミナー	ロゼシアター	37名
	18	静岡県薬物乱用防止県民大会	グランシップ	山中清美 浅尾智子 原滝子 久保田節子
	〃	薬薬連携推進のための意見交換会	薬剤師会館	坂野理事
	21	第2回自立支援会議	消防防災庁舎	和田泰明
	22	お薬出前講座Ⅰ	大北会館	羽二生尚身
	〃	小学校薬学講座	大淵一小	秋山将寛
	24	富士市救急医療協議会11月運営委員会	救急医療センター	会長
	29	お薬出前講座Ⅱ	フィランセ	幾見泰洋
	30	小学校薬学講座	岩松小	中司麻里
	5	お薬出前講座Ⅰ	青島町公会堂	羽二生尚身
	6	〃	宮島新田公会堂	〃
	7	高等学校薬学講座	市立高	望月貞男
	12	定例理事会	薬剤師会館	会長 3副会長 他5理事
	13	小学校薬学講座	元吉原小	大村倫生
	14	第4回富士市薬剤師会生涯学習講座	WEB開催	渡邊理事
	15	個別指導立ち合い	東部総合庁舎	会長
	16	第1回災害対策委員会	県薬剤師会館	野口理事
	17	第2回薬剤師連盟役員会	県薬剤師会館	和田泰明
	19	富士地域災害医療対策会議・研修会	富士総合庁舎	会長 曾根副会長 渡邊理事 和田泰明
	〃	高等学校薬学講座	富士高	曾根副会長
	23	地域薬剤師会生涯学習担当者会議	県薬剤師会館	平野理事
	25	富士市救急医療協議会12月運営委員会	救急医療センター	会長
	9	定例理事会	薬剤師会館	会長 3副会長 他6理事
	10	調剤報酬請求事務に係る講習会	歯科医師会館	27名
	10	お薬出前講座Ⅰ	鮫島公会堂	羽二生尚身
	〃	〃	青島町公会堂	〃
	16	〃	松野まちづくりセンター	〃
	19	静岡県薬剤師会地域ブロック協議会	WEB開催	会長
	23	第2回富士市在宅医療と介護の連携体制推進会議	富士市消防庁舎7階大会議室	平野理事
	25	富士市救急医療協議会1月運営委員会	救急医療センター	会長
	28	第2回地域・職域連絡協議会	クーポール会館	〃
	〃	第1回薬剤師連盟連絡協議会	〃	和田泰明
	30	お薬出前講座Ⅰ	富士市教育プラザ	三浦正継
2024.1	31	第1回静岡版トレーニングポートフォーマット作成ワーキンググループ	WEB開催	坂野理事
	4	第3回学校薬剤師委員会 第2回地域薬剤師会学校薬剤師担当者会議	県薬剤師会館	相澤副会長
	〃	第2回在宅推進委員会	〃	池ヶ谷理事
	8	お薬出前講座Ⅰ	天間まちづくりセンター	羽二生尚身
	〃	富士市救急医療協会連絡会議	ホテルグランド富士	会長 池ヶ谷理事
	10	お薬出前講座Ⅰ	青島町公会堂	羽二生尚身
	13	定例理事会	薬剤師会館	会長 3副会長 他6理事
	〃	第1回生涯学習委員会	WEB開催	会長
	15	子宮頸がん疾患啓発勉強会	薬剤師会館	〃
	17	第2回災害対策委員会	県薬剤師会館	野口理事
	26	富士市救急医療協議会2月運営委員会	救急医療センター	会長
	〃	第7回富士市介護保険運営協議会	消防防災庁舎	和田泰明
	〃	第3回富士市在宅医療介護の多職種連携リーダー会	医師会館	〃
	27	第3回富士市地域包括支援センター運営協議会	消防防災庁舎	〃
	28	第2回富士市CKDネットワーク及び富士市糖尿病ネットワーク運営委員会	フィランセ	曾根副会長
3	〃	第2回静岡版トレーニングレポート作成ワーキンググループ	WEB開催	坂野理事
	29	お薬出前講座Ⅰ	若松町三丁目公会堂	櫻田泰仙
	4	〃	市営二子団地集会場	〃
	11	COPD生活習慣病セミナー	富士交流プラザ	22名
	12	定例理事会	薬剤師会館	会長 3副会長 他6理事
	13	学校薬剤師講習会	薬剤師会館	会長、相澤副会長
	21	お薬出前講座Ⅰ	いまいづみ幼稚園	佐野優希
	24	第110回臨時総会	県薬剤師会館	会長、渡邊理事
	〃	静岡県薬剤師連盟臨時総会	県薬剤師会館	和田泰明、櫻田泰仙
	25	第4回富士市在宅医療介護の多職種連携リーダー会	医師会館	和田泰明
	〃	富士市救急医療協会3月運営委員会	救急医療センター	会長
	26	第5回富士市国民健康保険運営協議会	富士市役所	曾根副会長
	〃	学校保健検討委員会	医師会館	会長
	30	第2回地域薬剤師会社会保険担当者会議	県薬剤師会館	坂野理事

2023年度表彰受賞者

石川 嘉邦	2023年度 日本薬剤師会有功賞表彰
三浦 安壽	2023年度 富士市社会福祉協議会会長表彰
和田 泰明	2023年度 静岡県薬事振興会会長表彰

2023年度入会者(入会順)

小林 高寛	H17卒	
山中 啓輔	H17卒	池田 成子と交代
所谷 龍太	H16卒	遠山 くみ子と交代
矢吹 千香	H25卒	青木 崇弘と交代
塩川 侑里	H29卒	
森下 亜由美	H7卒	
近藤 旭	H26卒	
栗田 裕作	H24卒	布川 早苗と交代
山田 悠史	H22卒	小澤 祐太と交代
山本 悠太	H29卒	
勝又 慶人	H26卒	
鈴木 紀之	H12卒	
池田 成子	H7卒	山中 啓輔と交代
大森 結香	H17卒	立石 佳奈と交代
浅尾 光子	H23卒	色本 貴と交代
小田川 健太	H29卒	勝又 慶人と交代
廣瀬 広一朗	R2卒	
井出 美香	H10卒	

2023年度退会者(退会順)

小澤 祐太	R5.6
布川 早苗	R5.6
佐藤 好孝	R5.8
清水 真理子	R5.8
山中 啓輔	R5.9
立石 佳奈	R5.9
白井 孝政	R5.10
色本 貴	R5.9
若林 佑典	R5.9
鈴木 繁	R5.10
勝又慶人	R5.12
川口 喜代美	R6.2
佐野 英男	R6.3
立石 美井	R6.3
西島 秀紀	R6.3
寺内 弘道	R6.3
栗田 裕作	R6.3
池田 拓未	R6.3

令和 5 年度事業報告付属明細書

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

報告第 2 号

公益目的支出計画実施報告書の件と監査報告

【別紙2: 公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【 令和 5 年度(令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)の概要】

1. 公益目的財産額	30,622,324 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	16,684,343 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	16,684,343 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	円
③当該事業年度の実施事業収入の額	0 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	13,937,981 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注	
継3においては、収支差額が計画を下回ったものの、継1、継2、継3、いずれにおいても、収支差額が計画を上回ったことから、全体では、公益目的収支差額実績が計画を上回った。公益目的支出計画の実施期間は残り12年あり計画完了期間に関しては影響がないと考える。	

注: 詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和17年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	30,622,324 円	30,622,324 円	30,622,324 円	30,622,324 円	30,622,324 円
公益目的収支差額	18,118,202 円	18,156,822 円	19,209,862 円	16,684,343 円	20,301,522 円
公益目的支出の額	11,866,660 円	15,018,845 円	11,866,660 円	0 円	11,866,660 円
実施事業収入の額	10,775,000 円	13,546,366 円	10,775,000 円	0 円	10,775,000 円
公益目的財産残額	12,504,122 円	12,465,502 円	11,412,462 円	13,937,981 円	10,320,802 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	1	地域住民の健康な生活の確保・向上に関する事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
地域住民の健康な生活の確保・向上に寄与することを目的に、以下の事業を行う。 (1) 薬の知識普及啓発事業 保健所・保健福祉センター・公民館等で開催される、一般市民を対象とした薬の正しい知識普及のための講座に、県から薬学リーダーに委嘱された会員を派遣し、薬に関する講演を行う。 また、県から薬物乱用防止指導員に委嘱された会員が、富士地区保護士会等の関係団体とともに薬物乱用防止の街頭啓発活動を行う。 平成30年度は、薬学リーダーを3回派遣し、薬物乱用防止指導員を平成30年10月21日の街頭啓発活動に派遣した。 (2) フィランセまつりでの健康相談事業 富士市フィランセが主催する健康まつりに会員を派遣し、市民に対する健康相談を行う。 平成30年度は、9月16日に行った。 (3) うつ・自殺予防対策事業 自殺対策基本法の施行に伴い静岡県精神保健福祉センターにより計画されたうつ・自殺予防対策「富士モデル事業」へ参画し、会員の薬局において睡眠薬を購入しようとする者に対し、専門の医療機関への受診勧奨を行う等、自殺防止対策を行う。 <事業実施の財源> 財源については、その他会計の収益を充当する。	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	385,400 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	0 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について

令和5年度は以下のように事業を実施した。

(1)薬の知識普及啓発事業

1.「一般県民向けお薬出前講座Ⅰ」

以下の講座を実施した。

講座名	開催数	参加者
薬等の適正使用や病気の予防	32回	310名
薬等の適正使用や病気の予防・かかりつけ薬剤師・薬局・健康食品について	1回	31名
薬等の適正使用や病気の予防・かかりつけ薬剤師・薬局	1回	11名
薬等の適正使用や病気の予防・災害等への備え	1回	8名
かかりつけ薬剤師・薬局・災害等への備え・フレイル予防	2回	19名
かかりつけ薬剤師・薬局・災害等への備え・薬とサプリメント	1回	21名
未就学児への性教育と女性のヘルスケア(生理や更年期)について	1回	20名
子育て中のお母さんに向けての講座	2回	14名
(消毒、感染、ノロウイルス・コロナウイルス対策、坐薬の使い方等)		

2.薬物乱用防止啓発活動

5/23富士総合庁舎で行われた薬物乱用防止指導員富士地区協議会総会・研修会に、11/18グランシップで行われた薬物乱用防止県民大会に参加した。また、10/18富士駅で薬物乱用防止のチラシやティッシュペーパーの配布を行った。

(2)フィランセまつりでの健康相談事業

フィランセまつりの開催がなくなったが、7/31富士市健康増進事業まちの保健室で健康相談を行った。

(3)うつ・自殺予防対策

各薬局で、「眠れない」という方に、専門の医療機関への受診勧奨を行った。

① 当該事業に係る公益目的支出の額	668,595 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	15,100 円
③ (①－②)の額	653,495 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	668,595 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	15,100 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^{注1}	
(1)薬の知識普及啓発事業は新型コロナウイルス感染症の終息により講座を例年より多く開催・実施することができ、公益目的支出の額が計画見込み額を上回ったため、実施期間には影響がないと考える。	

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
イ		円	円	円	円	
ロ		円	円	円	円	

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・・・a1・・・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 収益の額	②実施事業 収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
雑収益	15,100 円	15,100 円	実施事業等会計に属する消費税差額であることから実施事業収入とする。
	円	円	
計	15,100 円	15,100 円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 費用の額	②公益目的 支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
その他	668,595 円	668,595 円	異なる費用科目がないため(1)と(2)は同額である。
	円	円	
計	668,595 円	668,595 円	

注4:①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

(2)[公益目的支出計画実施報告書]

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	2	学校薬剤師に関する事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
学校における学校保健・公衆衛生の向上を図り、児童生徒の健全な学校生活の確保に寄与することを目的に以下の事業を行う。 (1) 薬学講座事業 富士市内の小中高等学校において、小学5・6年生、中学生、高校生の全児童・生徒を対象に、薬物乱用防止と正しい医薬品の知識普及を図るための薬学講座を実施する。 平成30年度は、市内小中高校50校において、約15,000人を対象に行った。 (2) フッ素洗口事業 富士市が行う幼児の虫歯予防を目的としたフッ素洗口事業において、市内の幼稚園・保育園の園児のうがいに使用する薬剤の管理・調整等を行う。 平成30年度は市内の29幼稚園・保育園の薬剤管理を行った。 <事業実施の財源> (1)については県薬剤師会からの助成金を財源とし、不足分はその他会計の収益を充当する。	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	387,440 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	75,000 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について		
令和5年度は以下のように事業を実施した。		
(1)薬学講座事業		
対象	対象校	参加人員
富士市内の全ての小学校5・6年生(一部校は6年生のみ)	26校	2,539人
〃 中学校全学年	17校	6,571人
〃 高校全学年	6校	4,252人
〃 特別支援学校高等部(全学年・3年生のみ)	2校	44人
(2)フッ素洗口事業		
富士市内の幼稚園・保育園10園に対し、歯科医師の指示書に基づいて会員の内10薬局がフッ化物洗口剤を配布した。		
① 当該事業に係る公益目的支出の額		907,815 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額		452,760 円
③ (①－②)の額		455,055 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額		907,815 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額		452,760 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^{注1}		
フッ素洗口事業の受託事業収入とそれに伴う費用を計上した為、実施事業収入及び公益目的支出の額が計画の額を上回る結果となった。今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間には影響がないと考える。		

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
		円	円	円	円	
		円	円	円	円	

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・・a1・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 収益の額	②実施事業 収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
受取補助金等	76,500 円	76,500 円	静岡県薬剤師会からの薬学講座に対する助成金であり、実施事業収入とする。
受託事業収入	368,660 円	368,660 円	富士市からのフッ素洗口事業の受託料であり実施事業収入とする。
雑収益	7,600 円	7,600 円	実施事業等会計に属する消費税差額であることから実施事業収入とする。
計	452,760 円	452,760 円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 費用の額	②公益目的 支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
その他	907,815 円	907,815 円	異なる費用科目がないため(1)と(2)は同額である。
	円	円	
計	907,815 円	907,815 円	

注4:①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

(2)[公益目的支出計画実施報告書]

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	3	地域医療に関する事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
地域医療に寄与することを目的に以下の事業を行う。 (1)災害対策事業 富士市と締結した「災害時の医療救護活動に関する協定書」に基づき、災害時の医療救護活動を行う。平時においては、体制整備のための会議や訓練を行う。 (2)救急医療事業 富士市からの受託により富士市救急医療センターにおいて、休日、夜間に調剤業務を行うため会員薬剤師を派遣する。 勤務時間と派遣人員 平日 準夜(19:00～23:00) 1名 土曜日(14:00～18:00、17:00～23:00) 各1名 日祝日(9:00～17:00、17:00～23:00) 各1名 ただし、年末年始2名体制 平成30年度は延べ人数497名派遣した。 <実施事業の財源> (2)については富士市からの受託収入を財源とし、不足分についてはその他会計の収益を充当する。	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	11,093,820 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	10,700,000 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
令和5年度は以下のように事業を実施した。	
(1)災害対策事業 令和5年8月29日、令和6年1月17日静岡県薬剤師会の災害情報連絡訓練で、「Biz安否確認アプリ」と衛星携帯電話による訓練を行った。 なお、富士市と締結している「災害時の医療救援活動に関する協定書」の見直しを行った。	
(2)救急医療事業 本年度は次のように会員薬剤師を派遣した。	
平日	夜 243名
土曜日	50名
土曜日	夜 50名
日祝日	83名
日祝日	夜 81名
	計 507名
① 当該事業に係る公益目的支出の額	12,302,501 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	11,702,166 円
③ (①－②)の額	600,335 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	12,302,501 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	11,702,166 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^{注1}	
計画作成時点の見込みに比べ、医療センター収入が計画を上回り、その収入に伴い給料手当支出及び租税公課(消費税等)支出が増加し、公益目的支出の額が計画を上回る結果となった。今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間には影響がないと考える。	

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
イ		円	円	円	円	
ロ		円	円	円	円	

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・・・a1・・・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 収益の額	②実施事業 収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
医療センター収入	11,702,166 円	11,702,166 円	富士市からの富士市救急医療センター派遣に対する委託料であり、実施事業収入とする
	円	円	
計	11,702,166 円	11,702,166 円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 費用の額	②公益目的 支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
その他	12,302,501 円	12,302,501 円	異なる費用科目がないため(1)と(2)は同額である。
	円	円	
計	12,302,501 円	12,302,501 円	

注4:①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

【公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて】

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注1}
新型コロナウイルス感染症ワクチン接種のため、接種会場におけるワクチン管理等の為に薬剤師派遣業務を富士市から受託した。これに対する収入・費用をその他事業に計上した。収入超過の事業であり今年度で終了することから公益目的支出計画の実施に対する影響はないと考える。

注1: その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記入してください。

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容(計画の変更内容)及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注2}
高額財産の処分や多額の借入など公益目的支出計画に影響を与える活動はない。

注2: 「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入や施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもののうち、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記載してください。

報告第 3 号

令和 6 年度事業計画の件

事業

1. 地域の医療及び公衆衛生の向上発展に関する事業
 - 1) 救急医療センターに於ける円滑なる調剤業務の推進
 - 2) 一般県民向け「お薬出前講座Ⅰ」事業への協力
 - 3) 覚醒剤乱用防止推進活動
 - 4) 健康相談事業への参加
 - 5) うつ・自殺予防対策事業への協力
2. 地域在宅医療における多職種連携体制の整備に関する事業
 - 1) 介護保険制度への参加と在宅医療と介護の連携推進
 - 2) 衛生材料等の供給体制に関するシステムの整備
 - 3) 介護事業者向け「お薬出前講座Ⅱ」事業への協力
3. 学校保健及び集団施設の環境衛生に関する事業
 - 1) 環境衛生諸検査の実施（照度その他の検査）
 - 2) 小学生・中学生・高校生対象の薬学講座
 - 3) 尿検査の実施（幼稚園、保育園及び小中高生対象）
 - 4) 富士市フッ化物推進事業への協力
4. 会員研修に関する事業
 - 1) 研修会の実施
 - 2) 学術大会での発表および参加への支援
 - 3) 薬学生実務実習生の受け入れ
5. 保険医療と薬局機能に関する事業
 - 1) 受け入れ態勢の整備・充実
 - 2) 調剤過誤防止対策
 - 3) 三師会活動の推進
 - 4) 富士市薬剤師会ホームページの活用
 - 5) 病薬連携事業
6. 広報・福利厚生に関する事業
 - 1) 会員名簿の作成
 - 2) 一般広報活動
 - 3) 会員の福利厚生事業
 - 4) HP の管理
7. 防災に関する事業
 - 1) 災害時の活動
 - 2) 平時の活動

各部の事業計画

1. 公衆衛生部

〔地域の医療及び公衆衛生の向上発展に関する事業〕

- 1) 救急医療センターに於ける円滑なる調剤業務の推進
休祭日・平日準夜の調剤業務は、会員の協力を得て順調に行われています。地域医療の貢献の為に尚一層の会員の協力を要望していきます。
- 2) 覚醒剤乱用防止推進活動
富士地区保護司会等他団体と共に薬物乱用防止の啓発活動を行います。
- 3) 一般県民向け「お薬出前講座Ⅰ」事業への協力
薬の正しい知識や健康等に関する知識を皆様に深めて頂くと同時に、安心して薬局・薬剤師を活用して頂けるよう「お薬出前講座Ⅰ」を行います。
- 4) 健康相談事業への参加
健康相談等を行い薬剤師の地位向上に務めます。
- 5) うつ・自殺予防対策「富士モデル事業」への協力
うつ自殺予防対策事業を継続していきます。

2. 地域連携部

〔地域在宅医療における多職種連携体制の整備に関する事業〕

- 1) 介護保険制度への参加と在宅医療と介護の連携推進
介護認定審査員の派遣、地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療と介護の連携体制の推進を計ります。
- 2) 衛生材料等の供給体制に関するシステムの整備
富士市衛生材料等供給システムを立ち上げ、多職種と連携し、無駄のない明瞭な医療材料の供給に務めます。
- 3) 介護事業者向け「お薬出前講座Ⅱ」事業への協力
薬の正しい知識の普及、在宅医療の一員としての薬局の啓発、公衆衛生等に関係した講座を介護事業に従事している方を対象に行います。

3. 学校環境衛生部

〔学校保健及び集団施設の環境衛生に関する事業〕

- 1) 環境衛生諸検査の実施
学校環境衛生活動は、地域における学校薬剤師の役割として地域医療計画に記載され、また薬局運営ガイドラインにも記載されています。学校薬剤師の活動を継続して市民にアピールしながら実施します。
- 2) 小学生・中学生・高校生対象の薬学講座
薬物乱用の低年齢化が言われ、小・中・高校全校において実施します。講座の持ち方も検討しながらすすめていきます。
- 3) 尿検査の実施（幼稚園・保育園児及び小中高生対象）
富士市より委託を受け児童・生徒を対象に尿検査を行います。

- 4) 富士市フッ化物利用推進事業への協力
市内の幼稚園及び保育園に対し、フッ化物洗口剤の提供を行います。

4. 学術部
〔会員研修に関する事業〕

- 1) 研修会の実施
変化の著しい医薬品に対する知識の習得のため薬剤師生涯学習講座をより一層充実させていきます。また、地域医療に貢献する為に防災医療や救急医療の講習を充実させます。
- 2) 学術大会での発表および参加への支援
- 3) 薬学生実務実習生の受け入れ
薬学生実務実習生の受け入れに協力いたします。

5. 社会保険部
〔医薬分業に関する事業〕

- 1) 受け入れ態勢の整備と促進
処方せん応需がスムーズに進むように、静岡県薬剤師会及び各支部との連携を強化し、医療行政の変化に迅速に対応できる活動をしていきます。
- 2) 調剤過誤防止対策
調剤事故を未然に防ぐため、インシデント事例の収集・分析を行い、そのフィードバックをしていきます。
- 3) 三師会活動の推進
地域医療の担い手として、三師会を通じた活動を展開します。
- 4) 富士市薬剤師会ホームページの活用
スピーディーな薬品確保や薬事情報の伝達に役立つよう、ホームページの活用を推進します。
- 5) 病薬連携事業
薬局薬剤師と病院薬剤師の連携強化事業として活動していきます。

6. 総務部
〔広報・福利厚生に関する事業〕

- 1) 会員名簿の作成
- 2) 一般広報活動
新しい薬剤師の職能、医薬分業等についてPRしていきます。
- 3) 会員の福利厚生事業
会員の親睦を計る活動を実施していきます。
- 4) HP の管理

7. 防災部

〔災害時の医療救援活動に関する事業〕

1) 災害時の活動

- ・ 会員の安否確認（電話・FAX・Biz 安否確認アプリ）を行い、情報収集に努めます。
- ・ 医療救護活動（医療救護所で活躍する救護班への薬剤師の参加等）を行います。
- ・ 静岡県や富士市と連携し支援薬剤師の要請・派遣を行います。

2) 平時の活動

①関係機関との協議会等

- ・ 災害発生時に連携が必要と考えられる静岡県や富士市並びに三師会と災害発生時の対応について協議を行います。
- ・ 市町の医療救護所の事前指名要員になっている場合は、参集方法（参集基準）や医薬品の調達方法について協議を行います。

②災害に備えての準備等

- ・ 災害時の重要な連絡手段となる静岡県薬剤師会の「Biz 安否確認アプリ」の普及に努めます。
- ・ 通信手段として複数（衛生携帯電話、固定電話、FAX、インターネット等）確保します。
- ・ 一般用医薬品や衛生材料等についても、災害時の地域のニーズに応じるため、十分量を備蓄するように努めます。

③防災訓練の実施等

- ・ 災害発生時に救護所立ち上げ等を含め、三師会や富士市など関係機関と共に防災訓練を行います。

報告第 4 号

令和 6 年度収支予算の件

収支予算書

令和 6年 4月 1日 から令和 7年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①入会金収入			
入会金収入	100,000	100,000	0
②会費収入			
年会費収入	2,340,000	2,340,000	0
保険薬局会費収入	6,400,000	6,400,000	0
会費収入計	8,740,000	8,740,000	0
③事業収入			
医療センター収入	11,400,000	11,400,000	0
検査収入	6,600,000	6,600,000	0
県薬助成金	75,000	75,000	0
受託事業収入	353,000	0	353,000
用紙売上	100,000	100,000	0
事業収入計	18,528,000	18,175,000	353,000
④補助金等収入			
民間助成金収入	4,000	4,000	0
⑤雑収入			
受取利息収入	700	700	0
雑収入	500,000	500,000	0
雑収入計	500,700	500,700	0
事業活動収入計	27,872,700	27,519,700	353,000
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
用紙代	100,000	100,000	0
給料手当支出	12,650,000	12,650,000	0
役員報酬支出	200,000	200,000	0
退職給付支出	60,000	60,000	0
福利厚生費支出	80,000	80,000	0
旅費交通費支出	3,000	3,000	0
通信運搬費支出	556,000	556,000	0
消耗什器備品費支出	180,000	180,000	0
消耗品費支出	136,000	136,000	0
修繕費支出	45,000	45,000	0
光熱水料費支出	193,000	193,000	0
賃借料支出	233,000	233,000	0
保険料支出	128,000	128,000	0
租税公課支出	700,000	700,000	0
委託検査費支出	4,553,000	4,200,000	353,000
会議費支出	154,000	154,000	0
図書費支出	3,000	3,000	0
雑支出	16,000	16,000	0
事業費支出計	19,990,000	19,637,000	353,000
②管理費支出			
役員報酬支出	1,000,000	1,000,000	0
給料手当支出	1,800,000	1,800,000	0
活動人件費支出	441,000	441,000	0
退職給付支出	60,000	60,000	0
福利厚生費支出	140,000	140,000	0
会議費支出	800,000	800,000	0
交際費支出	132,000	132,000	0
旅費交通費支出	140,000	140,000	0
通信運搬費支出	490,000	490,000	0
消耗什器備品費支出	100,000	100,000	0
消耗品費支出	152,000	152,000	0
修繕費支出	55,000	55,000	0
光熱水料費支出	260,000	260,000	0
賃借料支出	276,000	276,000	0
保険料支出	150,000	150,000	0
諸謝金支出	1,230,000	1,230,000	0
租税公課支出	11,000	11,000	0
負担金支出	6,000	6,000	0
寄付金支出	2,000	2,000	0
研修費支出	200,000	200,000	0
図書費支出	500	500	0
雑支出	86,000	86,000	0
管理費支出計	7,531,500	7,531,500	0
事業活動支出計	27,521,500	27,168,500	353,000
事業活動収支差額	351,200	351,200	0
II 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	351,200	351,200	0
前期繰越収支差額	22,139,356	19,056,236	3,083,120
次期繰越収支差額	22,490,556	19,407,436	3,083,120

議案第 1 号

令和 5 年度計算書類(貸借対照表、正味財産増減計書)
及び同付属明細書承認の件と監査報告

貸借対照表

令和 6年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	22,596,371	19,156,521	3,439,850
未収会費	560,872	531,764	29,108
未収金	1,302,384	1,023,043	279,341
たな卸資産	48,246	29,876	18,370
前払金	20,900	0	20,900
流動資産合計	24,528,773	20,741,204	3,787,569
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
修繕引当資産	7,912,608	7,912,474	134
特定資産合計	7,912,608	7,912,474	134
(3) その他固定資産			
建物	3,356,347	3,542,640	△ 186,293
什器備品	538,914	674,043	△ 135,129
電話加入権	229,894	229,894	0
出資金	50,000	50,000	0
ソフトウェア	339,625	444,125	△ 104,500
その他固定資産合計	4,514,780	4,940,702	△ 425,922
固定資産合計	12,427,388	12,853,176	△ 425,788
資産合計	36,956,161	33,594,380	3,361,781
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,586,228	1,378,231	207,997
未払法人税等	71,000	71,000	0
未払消費税等	616,000	148,000	468,000
預り金	67,943	57,861	10,082
流動負債合計	2,341,171	1,655,092	686,079
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,341,171	1,655,092	686,079
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	34,614,990	31,939,288	2,675,702
(うち特定資産への充当額)	(7,912,608)	(7,912,474)	
正味財産合計	34,614,990	31,939,288	2,675,702
負債及び正味財産合計	36,956,161	33,594,380	3,361,781

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
受取入会金	200,000	800,000	△ 600,000
受取会費			
年会費	2,507,500	2,461,000	46,500
保険薬局会費	7,784,760	7,146,690	638,070
受取会費計	10,292,260	9,607,690	684,570
事業収益			
医療センター収入	11,702,166	13,469,866	△ 1,767,700
検査収入	6,524,168	6,626,666	△ 102,498
県薬助成金	76,500	76,500	0
受託事業収入	2,212,660	13,123,000	△ 10,910,340
用紙売上	85,514	136,136	△ 50,622
事業収益計	20,601,008	33,432,168	△ 12,831,160
受取補助金等			
受取民間助成金	6,000	19,000	△ 13,000
雑収益			
受取利息	1,275	1,263	12
雑収益	632,136	588,797	43,339
雑収益計	633,411	590,060	43,351
経常収益計	31,732,679	44,448,918	△ 12,716,239
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	29,876	43,142	△ 13,266
用紙代	103,180	121,550	△ 18,370
期末たな卸高	△ 48,246	△ 29,876	△ 18,370
給料手当	14,273,760	25,067,368	△ 10,793,608
役員報酬	200,000	200,000	
退職給付費用	77,500	60,000	17,500
福利厚生費	43,045	43,274	△ 229
通信運搬費	398,816	686,735	△ 287,919
減価償却費	189,654	179,203	10,451
消耗什器備品費	0	552,359	△ 552,359
消耗品費	111,764	278,969	△ 167,205
修繕費	20,515	50,047	△ 29,532
光熱水料費	120,223	144,155	△ 23,932
賃借料	183,711	174,560	9,151
保険料	132,592	132,390	202
租税公課	1,188,322	1,511,102	△ 322,780
委託検査費	4,756,344	4,148,452	607,892
会議費	8,500	0	8,500
雑費	171,588	35,817	135,771
事業費計	21,961,144	33,399,247	△ 11,438,103

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
役員報酬	1,000,000	1,000,000	0
給料手当	1,878,308	1,838,508	39,800
活動人件費	234,500	256,331	△ 21,831
退職給付費用	77,500	60,000	17,500
福利厚生費	123,370	131,536	△ 8,166
会議費	731,090	725,912	5,178
交際費	115,620	19,960	95,660
旅費交通費	71,000	57,000	14,000
通信運搬費	311,614	704,821	△ 393,207
減価償却費	236,268	220,594	15,674
消耗什器備品費	0	225,578	△ 225,578
消耗品費	95,488	131,178	△ 35,690
修繕費	20,515	56,455	△ 35,940
光熱水料費	159,365	191,090	△ 31,725
賃借料	215,662	204,919	10,743
保険料	155,652	155,414	238
諸謝金	1,127,500	1,079,100	48,400
租税公課	238,423	16,240	222,183
支払負担金	6,000	6,000	0
研修費	157,900	123,000	34,900
図書費	495	495	0
雑費	68,563	122,426	△ 53,863
管理費計	7,024,833	7,326,557	△ 301,724
経常費用計	28,985,977	40,725,804	△ 11,739,827
評価損益等調整前当期経常増減額	2,746,702	3,723,114	△ 976,412
当期経常増減額	2,746,702	3,723,114	△ 976,412
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
災害損失			
固定資産除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
税引前当期一般正味財産増減額	2,746,702	3,723,113	△ 976,411
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	2,675,702	3,652,113	△ 976,411
一般正味財産期首残高	31,939,288	28,287,175	3,652,113
一般正味財産期末残高	34,614,990	31,939,288	2,675,702
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	34,614,990	31,939,288	2,675,702

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	継続事業					他 4 検査事業・ 用紙販売	法人会計	内部取引等消 去	合計
	継 1 地域住民の健 康な生活の確 保・向上に関す る事業	継 2 学校薬剤師に 関する事業	継 3 地域医療に関 する事業	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取入会金									
受取入会金	0	0	0	0	0	0	200,000	0	200,000
受取会費									
年会費	0	0	0	0	0	0	2,507,500	0	2,507,500
保険薬局会費	0	0	0	0	0	0	7,784,760	0	7,784,760
受取会費計	0	0	0	0	0	0	10,292,260	0	10,292,260
事業収益									
医療センター収入	0	0	11,702,166	0	11,702,166	0	0	0	11,702,166
検査収入	0	0	0	0	0	6,524,168	0	0	6,524,168
県薬助成金	0	76,500	0	0	76,500	0	0	0	76,500
受託事業収入	0	368,660	0	0	368,660	1,844,000	0	0	2,212,660
用紙売上	0	0	0	0	0	85,514	0	0	85,514
事業収益計	0	445,160	11,702,166	0	12,147,326	8,453,682	0	0	20,601,008
受取補助金等									
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	6,000	0	6,000
雑収益									
受取利息	0	0	0	0	0	117	1,158	0	1,275
雑収益	15,100	9,500	11,500	0	36,100	14	821,922	225,900	632,136
雑収益計	15,100	9,500	11,500	0	36,100	131	823,080	225,900	633,411
経常収益計	15,100	454,660	11,713,666	0	12,183,426	8,453,813	11,321,340	225,900	31,732,679
(2) 経常費用									
事業費									
期首たな卸高	0	0	0	0	0	29,876	0	0	29,876
用紙代	0	0	0	0	0	103,180	0	0	103,180
期末たな卸高	0	0	0	0	0	△ 48,246	0	0	△ 48,246
役員報酬	0	0	0	0	0	200,000	0	0	200,000
給料手当	438,765	300,123	10,914,718	0	11,653,606	2,620,154	0	0	14,273,760
退職給付費用	6,200	10,850	21,700	0	38,750	38,750	0	0	77,500
福利厚生費	3,444	6,026	12,052	0	21,522	21,523	0	0	43,045
通信運搬費	39,712	53,688	201,486	0	294,886	103,930	0	0	398,816
減価償却費	42,592	32,950	43,400	0	118,942	70,712	0	0	189,654
消耗品費	7,639	13,369	30,146	0	51,154	60,610	0	0	111,764
修繕費	1,641	2,872	5,744	0	10,257	10,258	0	0	20,515
光熱水料費	13,979	19,571	27,959	0	61,509	58,714	0	0	120,223
賃借料	39,937	27,956	27,956	0	95,849	87,862	0	0	183,711
保険料	28,824	20,177	20,177	0	69,178	63,414	0	0	132,592
租税公課	0	52,400	1,000,600	0	1,053,000	322,117	0	186,795	1,486,322
委託検査費	0	368,660	0	0	368,660	4,387,684	0	0	4,756,344
会議費	0	0	6,000	0	6,000	2,500	0	0	8,500
雑費	45,862	1,073	2,063	0	48,998	122,590	0	0	171,588
事業費計	668,595	909,715	12,314,001	0	13,892,311	8,255,628	0	186,795	21,961,144
管理費									
役員報酬	0	0	0	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000
給料手当	0	0	0	0	0	0	1,878,308	0	1,878,308
活動人件費	0	0	0	0	0	0	234,500	0	234,500
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	77,500	0	77,500
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	123,370	0	123,370
会議費	0	0	0	0	0	0	731,090	0	731,090
交際費	0	0	0	0	0	0	115,620	0	115,620
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	71,000	0	71,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	311,614	0	311,614
減価償却費	0	0	0	0	0	0	236,268	0	236,268
消耗品費	0	0	0	0	0	0	95,488	0	95,488
修繕費	0	0	0	0	0	0	20,515	0	20,515
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	159,365	0	159,365
賃借料	0	0	0	0	0	0	215,662	0	215,662
保険料	0	0	0	0	0	0	155,652	0	155,652
諸謝金	0	0	0	0	0	0	1,127,500	0	1,127,500
租税公課	0	0	0	0	0	0	277,528	39,105	238,423
支払負担金	0	0	0	0	0	0	6,000	0	6,000
研修費	0	0	0	0	0	0	157,900	0	157,900
図書費	0	0	0	0	0	0	495	0	495
雑費	0	0	0	0	0	0	68,563	0	68,563
管理費計	0	0	0	0	0	0	7,063,938	39,105	7,024,833
経常費用計	668,595	909,715	12,314,001	0	13,892,311	8,255,628	7,063,938	225,900	28,985,977
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 653,495	△ 455,055	△ 600,335	0	△ 1,708,885	198,185	4,257,402	0	2,746,702
当期経常増減額	△ 653,495	△ 455,055	△ 600,335	0	△ 1,708,885	198,185	4,257,402	0	2,746,702
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 653,495	△ 455,055	△ 600,335	0	△ 1,708,885	198,185	4,257,402	0	2,746,702
税引前当期一般正味財産増減額	△ 653,495	△ 455,055	△ 600,335	0	△ 1,708,885	198,185	4,257,402	0	2,746,702
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	71,000	0	0	71,000
当期一般正味財産増減額	△ 653,495	△ 455,055	△ 600,335	0	△ 1,708,885	127,185	4,257,402	0	2,675,702
一般正味財産期首残高									31,939,288
一般正味財産期末残高									34,614,990
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額									0
指定正味財産期首残高									0
指定正味財産期末残高									0
III 正味財産期末残高									34,614,990

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
修繕引当資産	7,912,474	134	0	7,912,608
小 計	7,912,474	134	0	7,912,608
合 計	7,912,474	134	0	7,912,608

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
修繕引当資産	7,912,608	0	(7,912,608)	0
小 計	7,912,608	0	(7,912,608)	0
合 計	7,912,608	0	(7,912,608)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	11,038,683	7,682,336	3,356,347
什 器 備 品	5,907,471	5,368,557	538,914
ソフトウェア	522,500	182,875	339,625
	17,468,654	13,233,768	4,234,886

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載していることから明細書の記載を省略する。

監査報告書

一般社団法人富士市薬剤師会

会長 秋山 将寛 様



一般社団法人富士市薬剤師会

監 事 室井秀樹



監 事 久松啓子



私たち監事は、2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

計算書類及び附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は法令又は定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

議案第 2 号

理事選任の件

議案第 3 号

監事選任の件